

主務課	産業政策課	主に関係する課	森林整備課	観光振興課			
-----	-------	---------	-------	-------	--	--	--

重点プランの方針と目標	重点プランによりもたらされる効果
市民の再生可能エネルギーへの関心を高め、利用可能なエネルギーの普及促進及び地産地消を図るとともに、次世代エネルギー技術の研究や産業利活用について支援を検討する。	再生可能エネルギーの導入は、経済の成長要因の一つ捉えられていることから、産業分野における利活用を支援し、地域産業の振興に結びつけることができる。

プランの実現に向けた個別施策

施策名(担当課)	事業概要	前年度までの実施状況	今年度実施予定の主な内容	主たる関係予算の状況		
① 森のエネルギー推進事業 (森林整備課)	○木質ペレットを使用する市有施設の拡大を図る。 ○市民・事業者のペレットストーブ・ペレットボイラー購入費補助を行い、木質ペレット使用量増大を図る。 ○林地残材等を薪ストーブ用燃料、木質バイオマス発電燃料として使用するための情報を提供し、利用拡大を図る。	ペレットストーブ購入に対し補助金を交付。 12台(事業所・2台、一般家庭・10台)	ペレットストーブ・ペレットボイラー購入に対する補助金の交付 10万円×14台	事業名	森のエネルギー推進事業	
				今年度予算額	1,400	千円
				前年度決算額	1,193	千円
② (仮)エムウェーブ次世代エネルギーパーク整備事業 (観光振興課)	「自然との共存」を理念に掲げた長野五輪開催都市として、長野市のエネルギー利用の将来像を模索しながら、長野市版エネルギーパークのあり方について検討を進める。→H24.3月議会において整備計画の見直しを求める請願が提出され、庁内で検討した結果、整備計画を見直すことになり、H24・9月議会において請願が採択された。エムウェーブへの設置を白紙に戻し、所轄である環境部を中心に、次世代エネルギーパークを総合的に構築していくことに決定。よって重点プラン実施計画から削除する。	—	—	事業名		
				今年度予算額	—	
				前年度決算額		
③ 再生可能エネルギー研究等開発支援事業 (産業政策課)	○バイオマスなどの再生可能エネルギー生産拡大のため、企業が行う研究開発に対し、学術研究機関との連携による技術支援の検討する。 ○エネルギー関連の最先端技術開発の動向を注視し、産学連携で産業化を検討する。	麹化菌体を用いた廃食油のバイオディーゼル燃料化技術の実用化の研究開発に対する補助金の交付	再生可能エネルギー研究等開発に対する補助	事業名	再生可能エネルギー研究開発事業	
				今年度予算額	2,000	千円
				前年度決算額	2,000	千円

重点プランの指標項目	単位	23末現在	24実績	達成率	25実績	達成率	26実績	達成率	27実績	達成率	28実績	達成率	28末目標
① ペレットストーブ導入数(年間)	台	10	10	66.7%	12	80.0%		0.0%		0.0%		0.0%	15
		1	0	0.0%	0	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	3
② 次世代エネルギーパーク延べ入場者数(年間)		—	—		—		—		—		—		—
③ 再生可能エネルギー研究件数(累計)	件	1	2	66.7%	2	66.7%		0.0%		0.0%		0.0%	3